



青梅市立河辺小学校 学校便り
4月号 No. 648 令和4年4月6日
青梅市立河辺小学校 校長 関谷 望

50年の歴史の上に、新たなスタート！

校長 関谷 望

満開の桜の下での令和4年度河辺小学校のスタートとなりました。お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。

新年度を新しい学年・学級で迎え、子供たちは若干の不安が入り混じりつつも、「今年は〇〇をがんばろう」「〇年生として、頑張るぞ」という気持ちで、希望に燃えていることと思います。子供たち一人一人の「やる気」を、大きな成長に結び付けていこうと、河辺小学校の教職員一同も張り切っています。



河辺小創立50周年
キャラクター「うめどりちゃん」

本校は昨年度、創立50周年を迎えました。令和4年度は今後10年、30年、50年…と続くであろう「青梅市立河辺小学校の教育活動」の歩みの、新たなスタートの年となります。建学以来、本校が脈々と取り組んできた「自主創造」(＝自他尊重の心を持ち、主体的に学び続ける力の育成)の伝統を継続しつつ、新たな教育課題にも積極的に取り組んでいきます。

そのために、河辺小学校の教育目標「ねばり強い子ども・すすんで学習する子ども・仲良くする子ども」を以下のようにとらえ、児童一人一人の「向上心」と「自己肯定感」を育むために全力を尽くしてまいります。

【青梅市立河辺小学校 教育目標】

○ねばり強い子ども

健康で明るい心身を目指し、目標をもって根気強く努力する (自主性)

○すすんで学習する子ども

基礎的・基本的な学力を身に付け、試行錯誤をしながら、問題解決に取り組む (調整力)

○仲良くする子ども

自らを肯定的に捉え、他者を尊重し、認め合い支え合う人間関係をつくる (自他尊重の精神)

また、令和4年度も新型コロナウイルス感染症への対応が求められる年となりそうです。これまでと同様、新型コロナウイルス感染症対策の基本方針を、児童の「**身体の健康** (感染症予防の徹底)」「**心の健康** (不安や負担の軽減)」「**社会的な健康** (達成感・所属感等の充足、差別防止等)」の「**3つの健康を守る**」として、「現在の状況下での最善手は何か」を常に模索しながら教育活動を進めてまいります。

コロナ禍で先が見通せない状況が続いてはいますが、これからも、児童・教職員一人一人が存分に力を発揮し、それに保護者の方々・地域の皆様に支えていただくことで、「チーム河辺小」として教育活動を進めていけたらと考えております。

今年度も、皆様のご理解・ご協力の程、心よりお願い申し上げます。